

21-5 間伐パネル

特徴

横10cm、縦10cm、長さ1mの正角材5本をボルトで接続し、1m×50cmのパネルとしたもので、汎用性が高い。

施工場所

側溝保護工、交通安全用柵、水路工、洗掘防止工、視線誘導標、法面保護工、階段工等。

全景



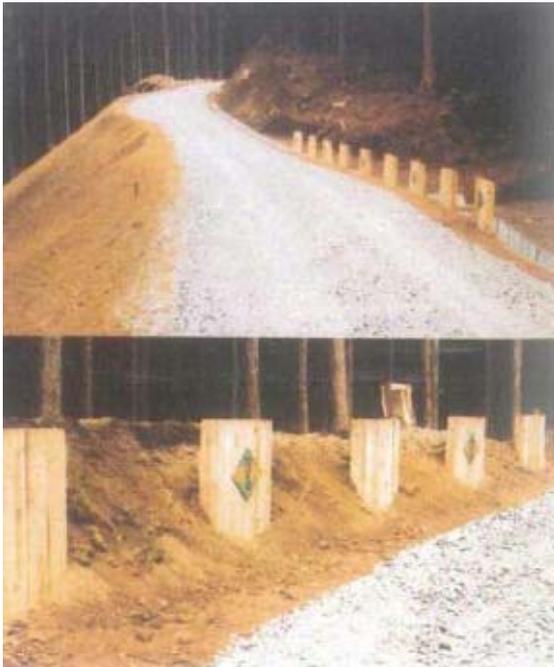
法面保護工



水路工



交通安全柵



視線誘導標



側溝保護工



階段工



洗掘防止工

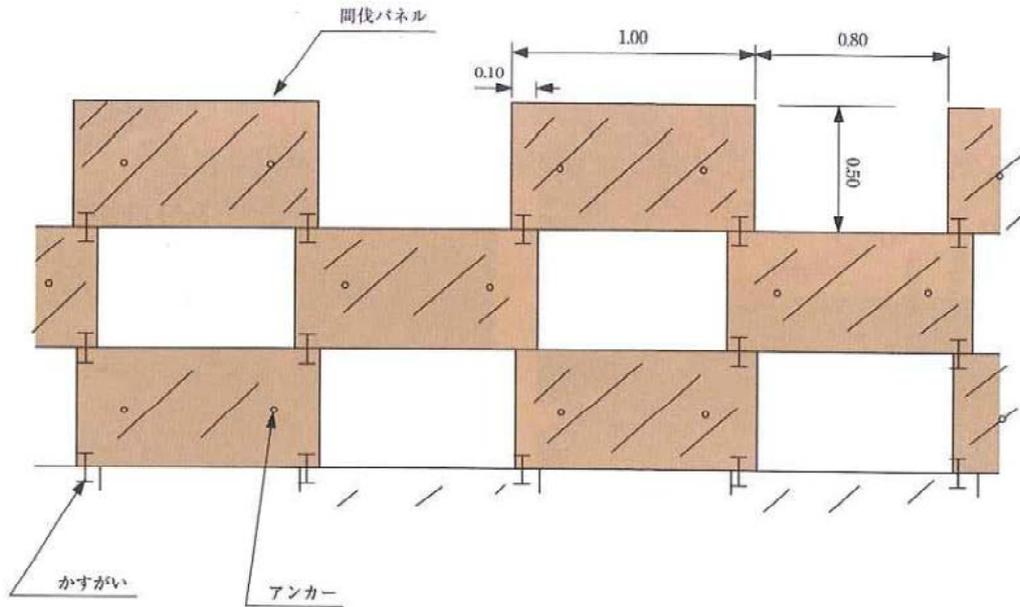


側溝蓋

標準図

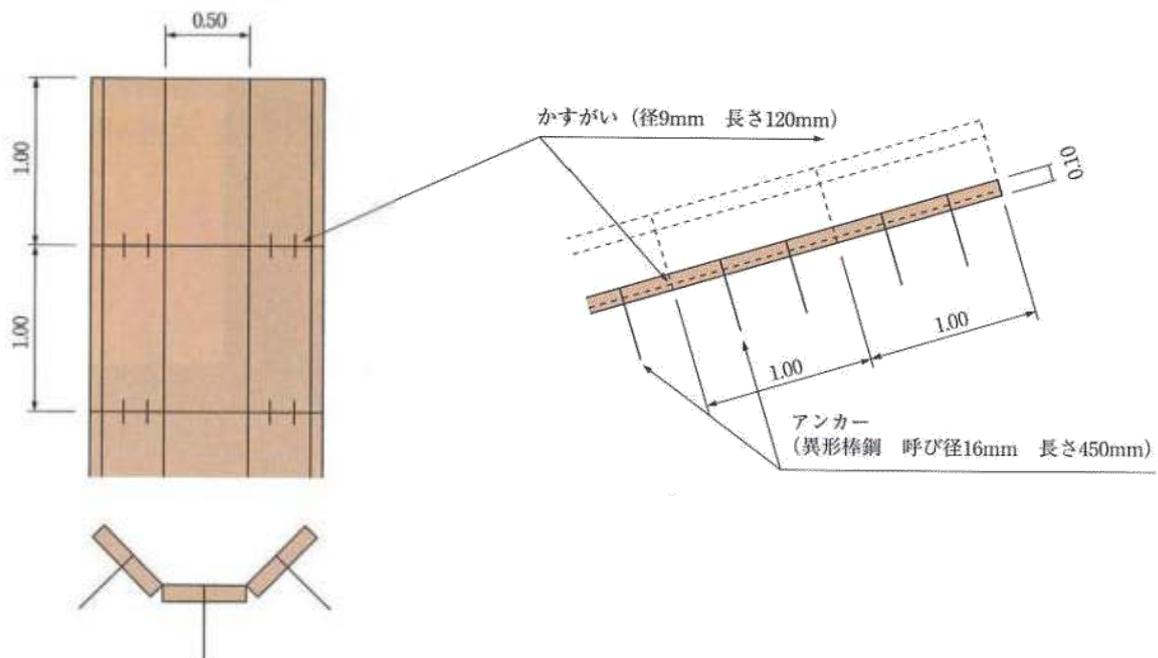
間伐パネル(法面保護工)

(単位：m)



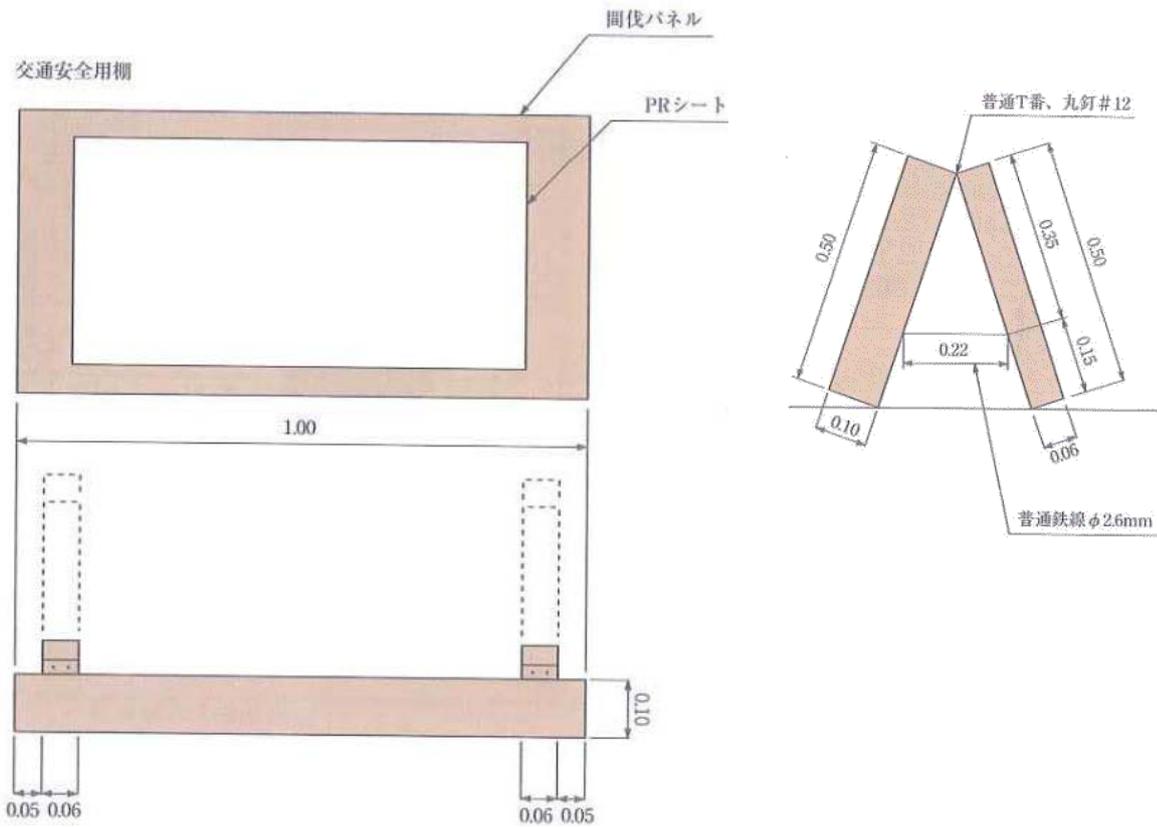
間伐パネル(水路工)

(単位：m)



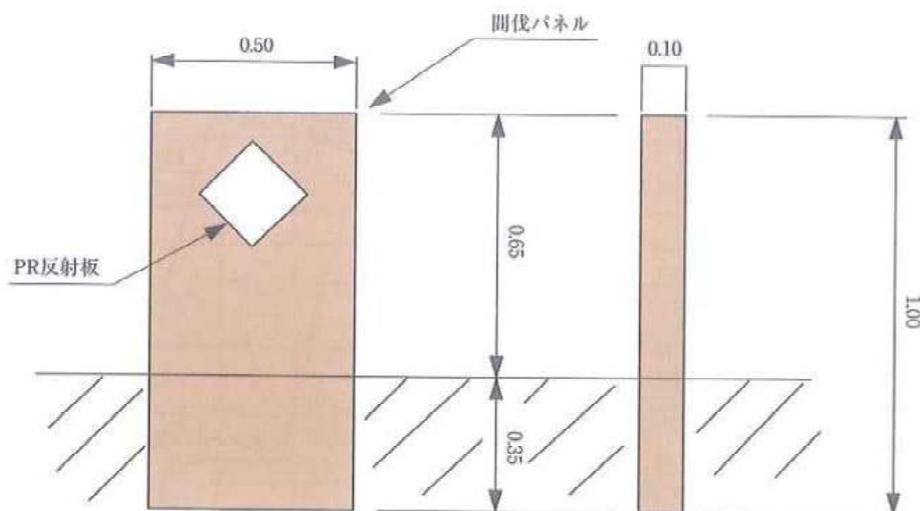
間伐パネル(交通安全柵)

(単位：m)



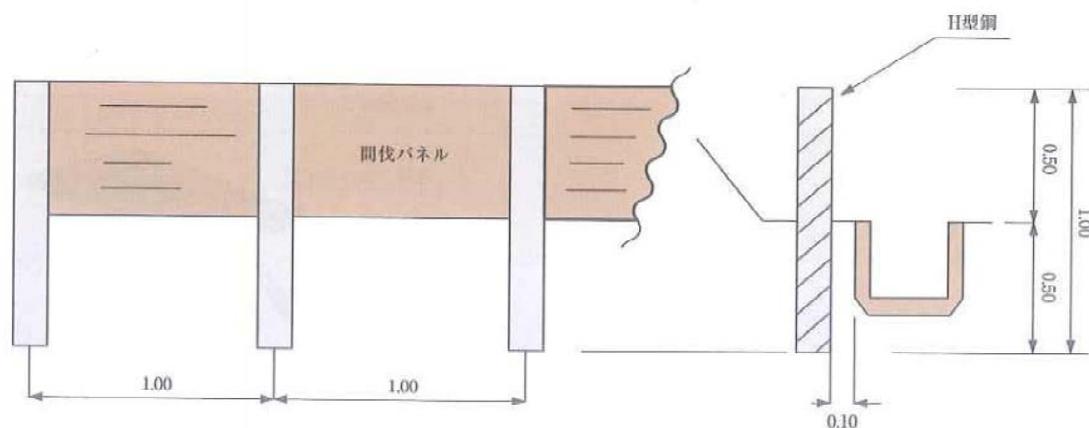
間伐パネル(視線誘導標)

(単位：m)



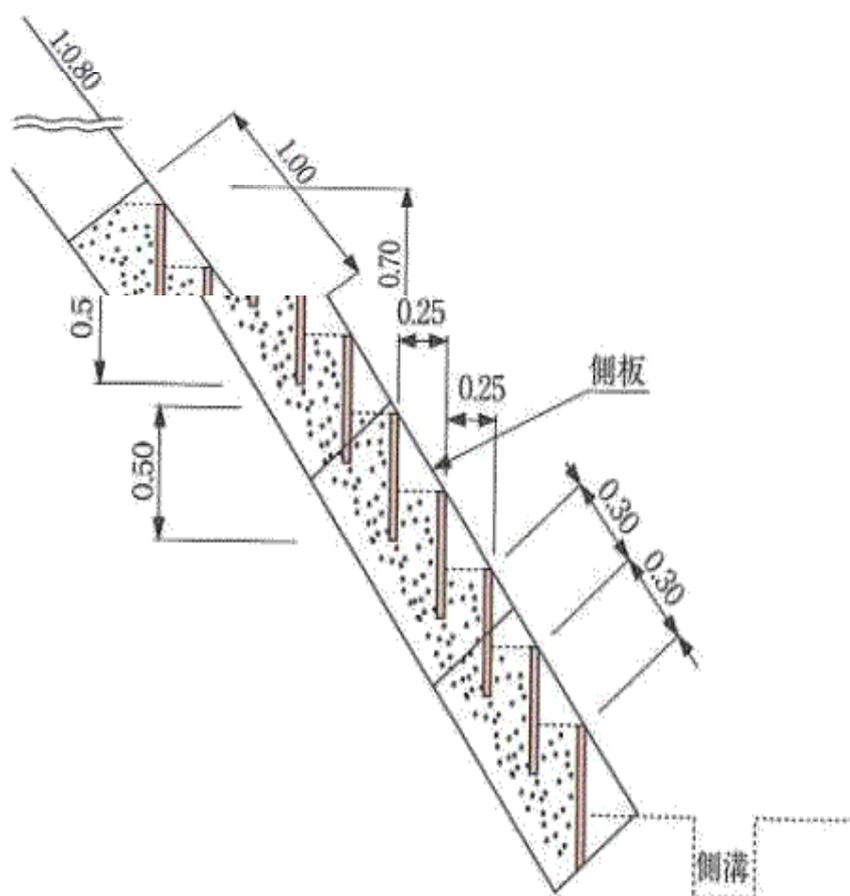
間伐パネル(側溝保護工)

(単位：m)

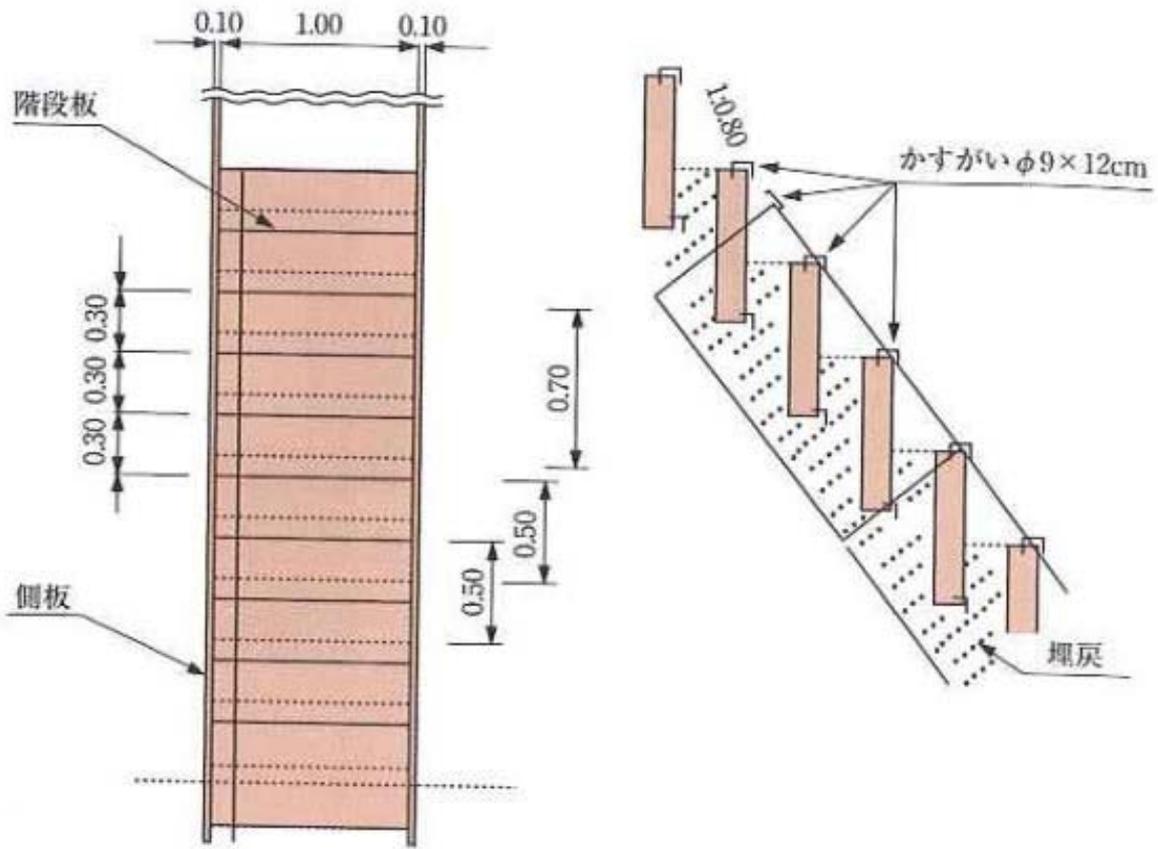


間伐パネル(階段工)

(単位：m)

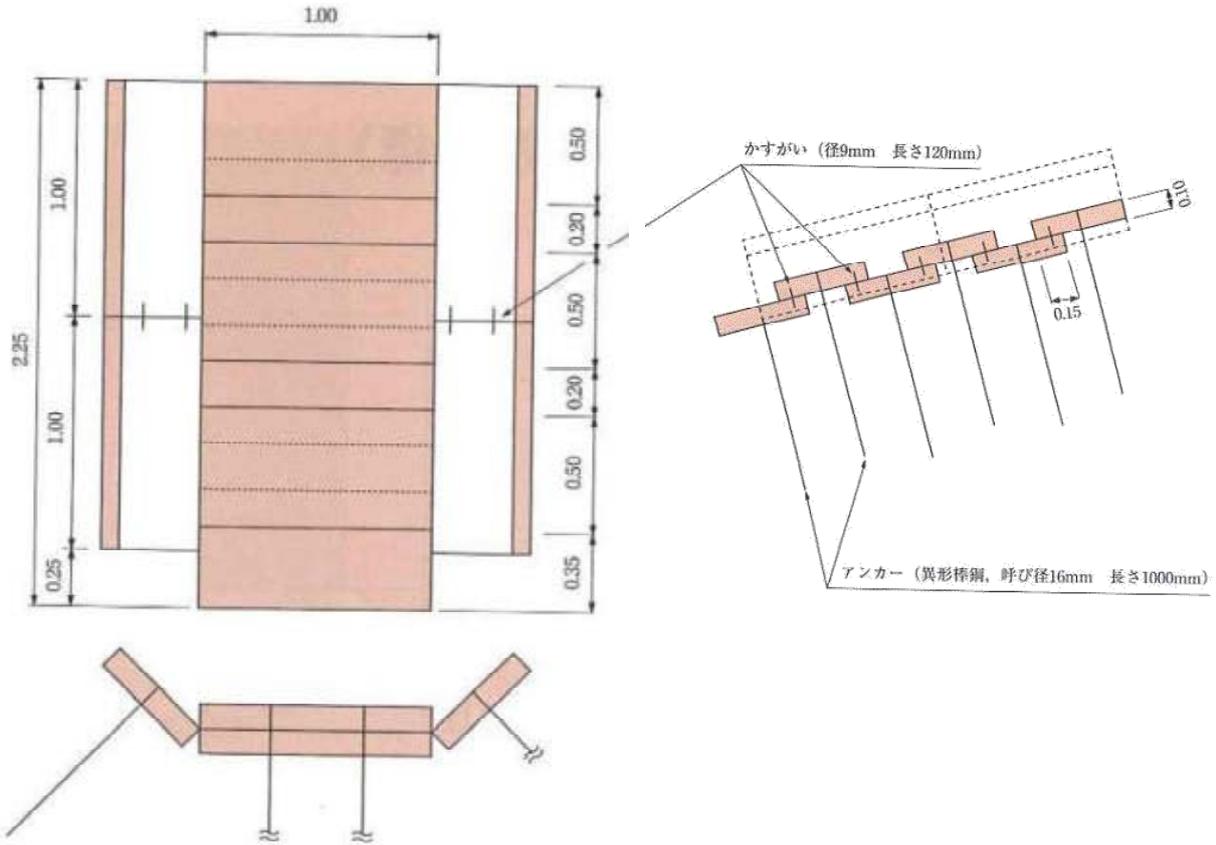


詳細図



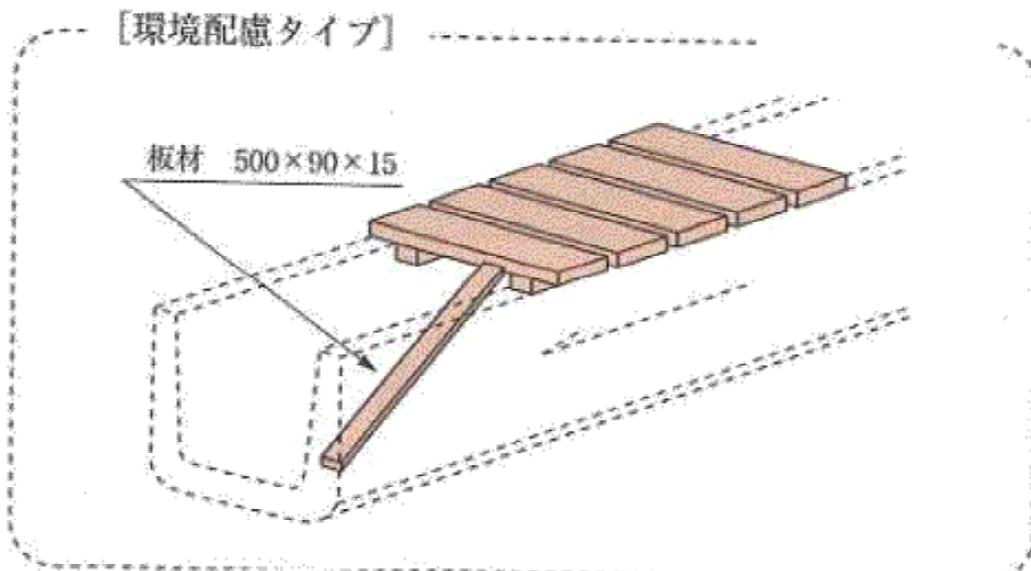
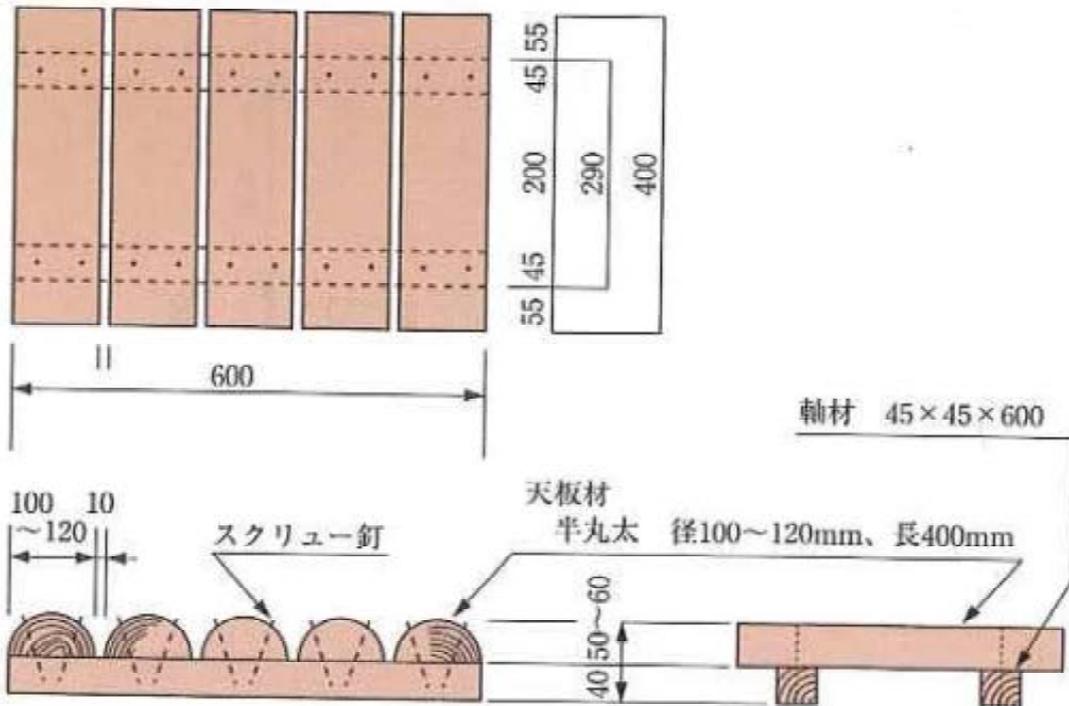
間伐パネル(洗掘防止工)

(単位：m)



間伐パネル(側溝蓋)

(単位：mm)



材料・歩掛表

名 称	規格・寸法	単位	数 量				摘 要
			法面保 護 工 (100 ㎡当た り)	水路工 (10m 当 たり)	交通安 全柵(1 基当た り)	視 線 誘 導標(10 枚当た り)	
間伐パネル	100 × 50 × 10cm	枚	110.00	30.00	1.00	10.00	
角 材	正角 500 × 60 × 60mm	本			2.00		
ア ン カ ー	D=16 L=450mm	〃	220.00	60.00			
カ ス ガ イ	φ=9 L=120mm	〃	190.00	60.00			
普 通 鉄 線	# 12	m (kg)			1.20 (0.05)		
鉄 丸 釘	N50 L=50 # 12	本			4.00		
〃	N38 L=38 # 14	〃			34.00	20.00	
普 通 蝶 番	ステンレス薄口 51 × 31 × 0.9	個			2.00		
PR シ ー ト	4 色カラー粘着シ ー ト 400 × 800mm	枚			1.00		
PR 反 射 板	200 × 200mm	枚				5.00	
鉄 筋 加 工	異形棒鋼 φ 16 ~ 25	t	0.1544	0.0421			アンカーの加 工(手間のみ)
埋 戻 し	バックホウ山積 0.45 ㎡(平積0.35 ㎡)	㎡				0.89	
普 通 作 業 員	据付	人	0.77	0.21	0.0625	0.25	
〃	アンカー打込	〃	1.04	0.28			
〃	カスガイ打込	〃	0.19	0.06			

名 称	規格・寸法	単位	数 量				摘 要
			側溝保 護 工 (100 枚当た り)	階段工 (10m 当 た り)	洗掘防 止工(1 箇所当 たり)	側 溝 蓋 (300B 用)(10 枚 当 た り)	
間伐パネル	100 × 50 × 10cm	枚	100.00	46.30	10.00		
小丸太(杉)	末口径 14cm 未満 間伐材 L=40cm	枚 (m ³)				50.00 (0.12)	
角 材	正角 600 × 45 × 45mm	本				20.00	
ア ン カ ー	D=16 L=1,000mm	〃			20.00		
カ ス ガ イ	φ=9 L=120mm	〃		123.00	14.00		
ス ク リ ュ ー 釘	3.4 × 75mm	〃				200.00	
H 鋼	125 × 125 × 6.5 × 9mm L=1,000m	本 (t)	101.00 (2.384)				
鉄 筋 加 工	異形棒鋼φ 16 ~ 25	t			0.0312		アンカーの加 工(手間のみ)
掘削・積込	バックホウ山積 0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	m ³		6.00			
埋 戻 し	バックホウ山積 0.45 m ³ (平積0.35 m ³)	〃		3.13			
普通作業員	据付	人		0.32	0.07		
〃	掘削・建込	〃	4.00				
〃	アンカー打込	〃			0.60		
〃	カスガイ打込	〃		0.12			
〃	半割加工	〃				0.100	
〃	組立	〃				0.542	
〃	清掃据付	〃				0.042	

[環境配慮タイプ]

板 材	500 × 90 × 15mm	枚				10.00	蝶番連結
-----	-----------------	---	--	--	--	-------	------

21-6 グライド防止三角枠工

特徴

丸太筋工と組み合わせて施工し、苗木が雪の下方移動で倒れる被害を防止する。山腹の景観や環境を損なわず、施工も簡単にできる。保安林改良等における切取階段工を本工法にすることにより、残土の発生を抑えられる。

施工場所

積雪のグライドにより植栽木等に悪影響を及ぼす恐れがある箇所に検討する。

施工方法

丸棒加工された丸太をボルトで固定して正三角形の枠を形成し、その頂点部分に支柱を嵌め込み、杭木や沈下防止板で現地に設置する。

全景

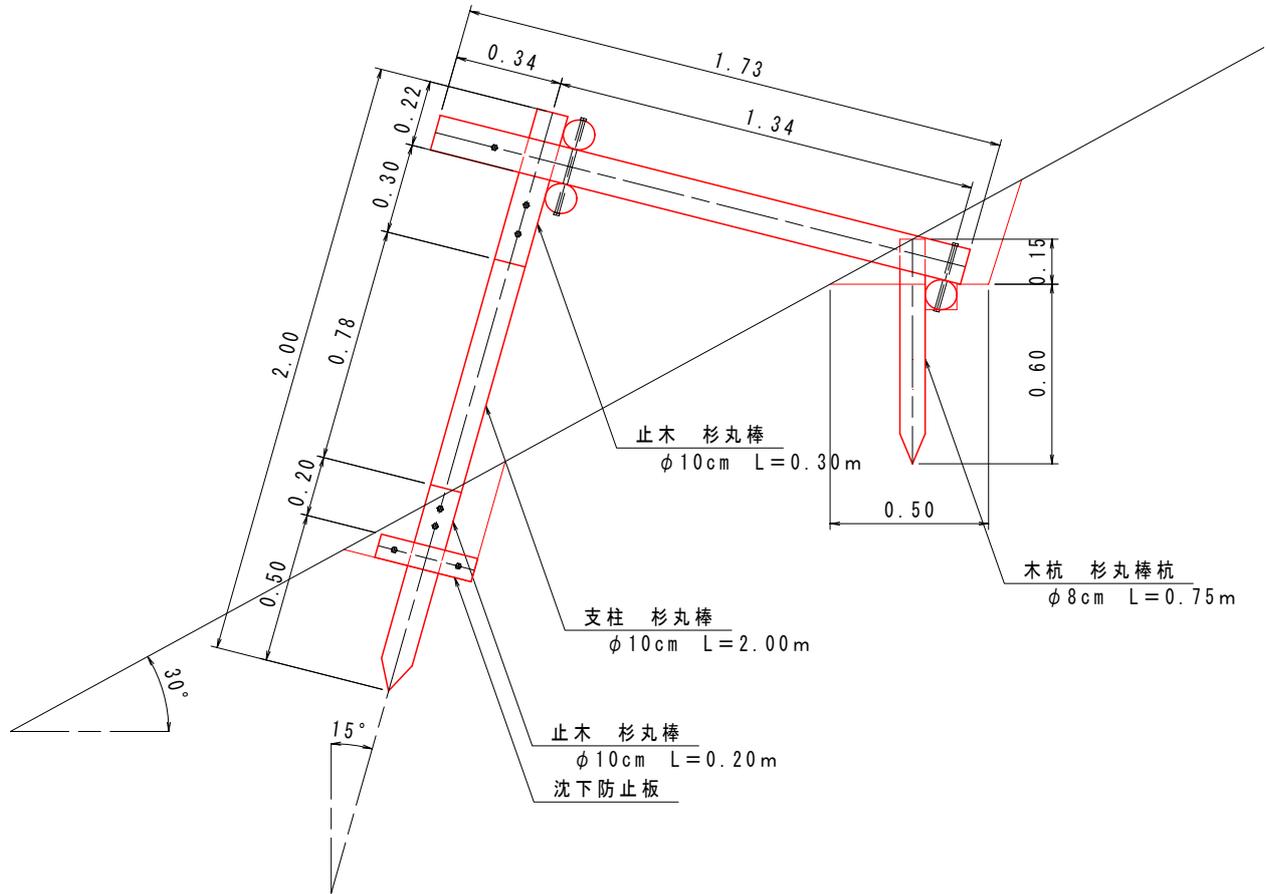


近景



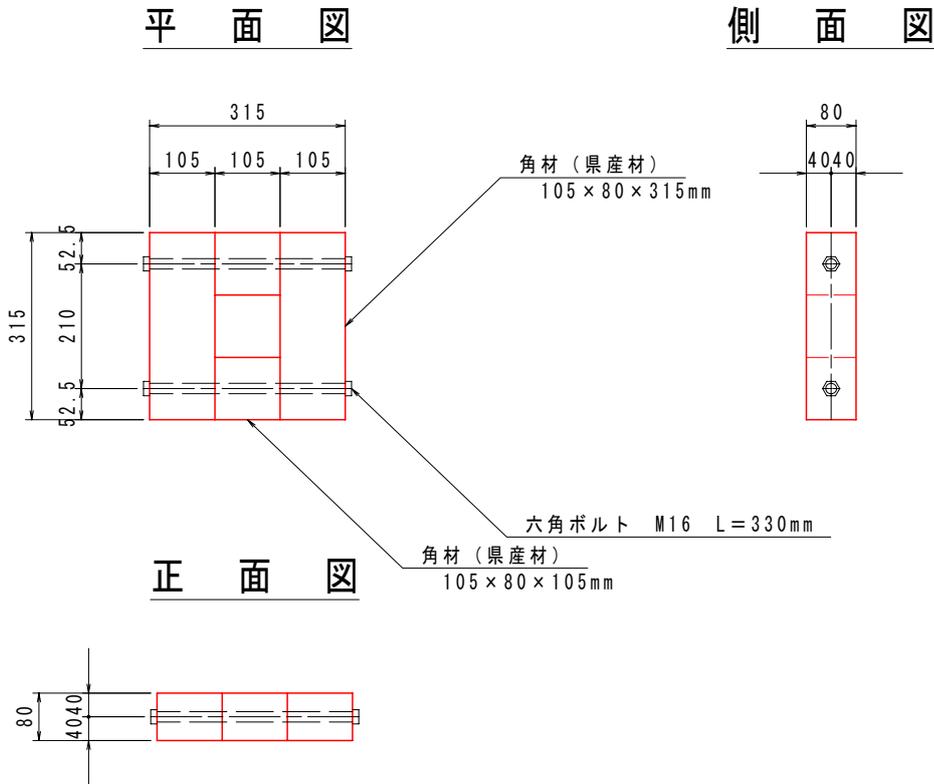
施工地：富山県南砺市
事業名：水源地域整備事業
施工主体：富山県

側 面 図



- ※ 1 部材は、AQ1種同等の防腐処理加工を施したものとする
 2 木杭での施工が困難なときは、異形棒鋼 (D32mm以上、L=0.65m) により施工する
 3 沈下防止板は、底面がすべて地山に接すること
 4 横木は、切取幅0.50幅の奥側0.20の範囲内に設置する

沈下防止板 (単位: mm)



- ※1 角材は、AQ1種同等の防腐処理加工を施したものとする。
- 2 六角ボルトは、JIS H 8610 2種 2級 (Zマーク) とする。

材料・歩掛表

(1基当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
グライド防止三角枠工	杉丸棒加工材 φ 12.0cm、φ 10.0cm (AQ1種同等の防腐処理含) 金具等一式含	基	1	工場加工品 (30°タイプ)
土木一般世話役		人	0.01	
普通作業員		人	0.14	
人力土工	人力切崩し	m ³	0.23	標準掘削量

※上記歩掛は部材組立～人力切崩し～ボルト・鉄線結束、杭打ちまでを含む。

※上記歩掛は20m程度の現場内小運搬を含む。